

# 未来がん医療プロフェッショナル養成プラン

記により講義を行いますので、学生、教職員の方、多数ご来聴下さい。聴講は自由です。

記

## Overview of Cancer: Pathology and Anatomy 「がんの病理・病態学概論」

5月21日(月)	① 癌の発生部位と多様性	本学大学院医歯学総合研究科	沢辺 先生
	② 癌の異型度と悪性度	本学大学院医歯学総合研究科	小林 先生
5月22日(火)	①		
	② 早期癌の診断と治療	本学大学院医歯学総合研究科	江石 先生
5月23日(水)	① がんの診断、治療のための		
	② 臨床解剖学	本学大学院医歯学総合研究科	秋田 先生
5月24日(木)	① 癌の浸潤と転移	本学大学院医歯学総合研究科	北川 先生
	② 早期癌と進行癌	本学大学院医歯学総合研究科	山本 先生
5月25日(金)	① 前癌病変の診断と課題	本学大学院医歯学総合研究科	池田 先生
	② 癌と治療効果	本学医学部附属病院	明石 先生

1 時限:18:30-19:50 2 時限:19:50-21:10 質疑応答 21:10-21:30

M&D タワー11F 大学院講義室 3

### [概要]

医療における病理診断の実例を題材として、癌の良性悪性、浸潤や転移がどのように観察され、診断されているのかを解説する。また一口に癌と言っても悪性度は様々であり、それによって治療方針なども異なるので、病理の立場からその情報が臨床の現場でどのように生かされているのかを解説する。わが国は癌の早期診断が進歩しており、諸外国に比べ早期癌の診断・治療の機会が多いので、実例を示しながらその診断と治療について解説する。

化学療法や放射線治療によって癌の病巣はどのように変化するのかについて解説し、さらに各臓器に発生する癌の姿はどのように異なるかについて、その発生母地の違いの観点から解説する。さらに解剖学的観点から、癌治療ならびに癌の転移の理解に必要な、脈管系を中心とした解剖学について解説する。

科目担当責任教員:本学大学院医歯学総合研究科 江石 義信 先生